

2017年

安全報告書



わたらせ渓谷鐵道株式会社

## 1. お客様をはじめ、地域の皆様へ

日頃からわたらせ渓谷鐵道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

2017年5月22日に水沼～花輪駅間の八木原踏切付近で発生した列車脱線事故については、ご利用いただいているお客様、関係の皆様方には大変なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

脱線の原因については現在も国土交通省運輸安全委員会による調査が継続中ですが、これまで沿線自治体の支援及び国の補助制度の活用により、また、(公財)鉄道総合技術研究所のアドバイスも受けながら集中的な軌道整備を実施してまいりました。

この事故で得た教訓を決して忘れることなく、「事故を二度と起こさない」という決意のもと、安全・危機管理体制の強化や安全指導、安全教育を徹底し、全力で輸送の安全確保に努めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に則り、輸送の安全確保のための取組等を広くご理解いただくために公表するものです。皆さまに本報告書をご高覧いただき、当社の安全の向上のため、忌憚のないご意見ご感想をお聞かせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

わたらせ渓谷鐵道株式会社

代表取締役社長 榑 澤 豊

## 2. 安全に関する基本方針

### (1) 基本方針

輸送の安全確保を図ることは、鉄道事業に携わる当社にとって重要な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社は、「安全で安心した輸送」を最重要項目とし、法令遵守と、危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図るとともに、「連携と実績で果たす安全安定輸送」を事故防止活動のスローガンに、社長以下全社員で取り組んでまいります。

### (2) 安全目標

列車事故など大きな事故の絶滅

### (3) 重点実施項目

- ・事故防止管理体制の確立
- ・責任ある作業体制の強化
- ・計画的教育訓練の充実
- ・車両、設備の故障防止
- ・自主的な事故防止活動の育成努力

◆ 安全管理体制の確立

社長の強力なリーダーシップのもと、機動性のある安全管理体制の確立を目指し、現場の情報を把握し、現場に対しフィードバックする体制を構築するため、安全統括管理者を軸とし各課長、運転管理者、施設管理者、車両管理者及び乗務員指導管理者が中心となり、事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その実績状況を点検しながら推進し、定期的開催する事故防止検討会議で問題を確認することにより、社員が問題意識を共有できる体制を構築する。

◆ 車両、設備の故障防止

使用状態に応じた保守管理体制の強化を図るとともに、更新、修繕、重要部品の計画的取替を推進し、信頼性の向上を図る。

◆ 自主的な事故防止活動の推進

春・秋の全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検にあわせ、また、必要な機会をとらえて事故防止検討会を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱等について意見交換や研修を行い、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

### 3. 輸送の安全を確保するための取り組み

安全対策については、2017年に発生した列車脱線事故を教訓とし、「事故を二度と起こしてはならない」という強い意志を社内で共有し、一致協力して全力で安全運行に取り組んでまいります。このため社内の安全・危機管理体制の強化や安全指導、安全教育を徹底し、特に線路設備の整備・保守管理を計画的に、集中して推進していくとともに、保守管理業務が確実に遂行されるよう体制の整備を行い、さらなる安全の向上を図ってまいります。また、必要に応じ事故防止検討会及び2か月毎に管理職会議を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱い等についても意見交換を行っています。

2017年は、異常時発生時に行う転てつ器鎖錠金具の設置、使用訓練及び協力会社合同教育を実施しました。また、平成20年から参加しているJR東日本高崎支社総合復旧訓練、関東運輸局技術支援研修による鉄道他社で行われる研修会にも参加しました。

<事故防止検討会>



< 転てつ器鎖錠金具設置訓練・協力会社合同教育 >



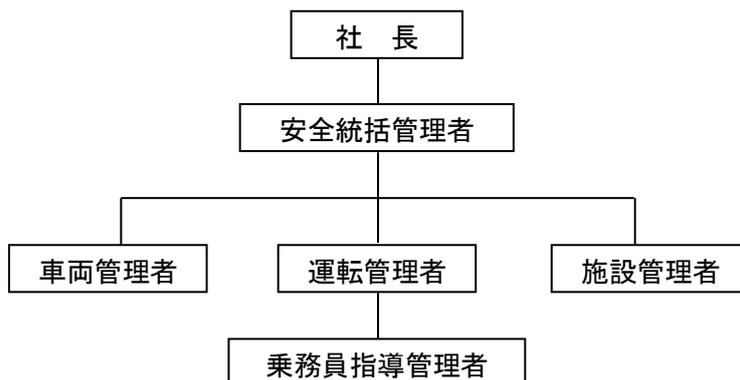
< J R 東日本高崎支社総合復旧訓練 >



**4. 当社の安全管理体制**

安全管理規程を制定して、社長をトップとした安全組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
施設管理者	軌道・施設に関する事項を統括する。
車両管理者	車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



## 5. 運転事故・輸送障害の発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害（列車が30分以上遅れたもの）	
	衝突・脱線・踏切事故	設備・車両等の故障	雨などの自然災害
25	0	11	6
26	0	4	5
27	0	2	7
28	1	3	5
29	1	4	3

2017年度の運転事故及び輸送障害の発生状況について、運転事故は5月22日に発生した列車脱線事故、輸送障害については設備車両等の故障は横ばい、台風等の影響による自然災害による輸送障害は減少しましたが、総数としては前年より1件減少となりました。

## 6. 安全対策実施状況

施設設備は、一層の安全運行を確保するため、国の補助制度の活用と自治体の支援により、マクラギPC化を含むマクラギ更新、道床交換等、集中的な軌道整備を実施したほか、軌道、土木、電気定期検査、大間々駅下りホーム改良嵩上げ、落石防護設備整備、分岐器交換、わ89形車両全般検査、WKT形車両重要部検査、踏切耐雷トランス改修を実施し、併せて、老朽化の目立つ車両及び線路設備・施設の維持管理に意を払い、軌道、橋梁、トンネル、擁壁などの防護設備やケーブルなどの信号保安設備等線路設備の保守管理の体制の見直し・強化しました。

項 目	施 行 箇 所
<b>【線路施設】</b> 防護設備 停車場設備 線路設備	土留壁補強 沢入～原向間 ホーム改良 大間々駅下りホーム嵩上げ 分岐器交換 大間々駅構内 PC・並マクラギ交換 2,114本 道床交換 大間々～上神梅間 1箇所
<b>【車両の検査】</b> 全般検査 重要部検査	わ89形車両 1両 WKT形車両 1両 踏切改良 通洞～足尾間 渋川踏切改良
<b>【踏切保安設備】</b> 耐雷トランス改修	下新田・大間々間 5箇所

<大間々駅構内分岐器交換工事>



## 7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

わたらせ渓谷鐵道株式会社

TEL:0277-73-2110/FAX:0277-73-3121

URL <http://www.watetsu.com/> E-mail: [watetsu@sunfield.ne.jp](mailto:watetsu@sunfield.ne.jp)